

1
県委員会との話し合い

2001年3月30日(金) 19時から21時 県委員会会議室

作成: [REDACTED]

参加者

県委員会: 関副委員長、田母神選対部長、野口労対部長、手塚財政部長、内藤川南委員長

電力連絡会: [REDACTED]

司会: 野口

田母神

会議の主旨について

昨年3/16日意見出された、今年2月にも支部長会議開いた。それとは別に川南川崎火力支部、横浜中央東電支部より要請あって開いた

1, 卒直な意見を聞かせて欲しい

2, 電力連絡会について

県委員会は、争議解決後の運動については、職場を基礎にやるべき、横断的組織不要と言った。しかし、電力の方から「政策的課題、争議支援へのお礼も必要との意見あり」県としてはやむを得ないと考えた。

連絡会のその後の運動についても聞きたい。

[REDACTED]
県委員会の態度は何という態度だ、部屋に入ってきてても挨拶もしない、県委員会として何を考えているのだ。

[REDACTED]
昨年3月16日の会議で、中島氏は冒頭「この種の会議が中断したのは、県として謝りたい」と表明、田母神氏は電力側から各種の質問や意見が出されたのに対して「検討して返事する」旨答えている。又現在行われている県委員会による争議問題に対して色々な意見が出されているはずだ。川崎火力支部からは都合3回の会議で多くの意見を挙げている。今日はそのための会議のはず、2月24日の支部長会議の議題の内「争議問題」を今日やるのは県の方針ではないのか?

今日の会議の召集の仕方にも問題がある。一片の文書で約1週間前にファックスで連絡のみ、責任者とお互いの都合を聞きながらもっと事前に連絡しながら行うべきだ。

[REDACTED]
昨年3月16日の会議の続きをやるのだろう

田母神

昨年の3月以後開催しなかった件については前回の支部長会議で謝った

野口

川南や横浜の意見はもらっている、川南の同志には話した。川南では東電の名前が出た。県委員会の方針では東電は入っていない、その後わかって有坂支部長には「申し訳ない」と謝った。

昨年の3月の会議→中心を絞って会長、事務局長。幹事とすることにした。

(中村氏へ) 昨年の・・・

(東電名) 東電の名前は出ていない。中野同志にも確認した。中野同志が自分で判断して東電の名前を出した。

[REDACTED]
東電の名前を出したのは、県委員会で決めているから出したのだ

川南の説明会で県委員会の報告の最初に、今争議団の中に不団結があり、具体的には次の争議団（元）で不団結が起きている「千代田、日立、東芝、東電」だ。と表明している。この報告会には3人の県委員が参加していた。会議の中での自分が「東電のどこでどういう不団結があるのか」質問したが答え無し。その後も支部会議に2回県委員が参加したが「東電」の件については答えもないし、間違いであったとの表明も無かった。と言うことは県委員会総会で「東電問題が議題にあがり、県委員自体の認識として東電も誤り集団と考えていたと推測できる」常識的に言っても「中野同志が自分の判断で東電の名前を出した」との言い分は信用に値しない。

今日我々がここに来たのは、撤回せよと言うことで来た。

共闘会議悪いだから東電悪い
集まった人→何をしているか

関

県委員会総会では、東電という名前は出ていない。
川南だけで出したがそれは間違いだ、全県でやっている訳ない

争議団・連合職場連絡会に対して攻撃あり

県委員会が昨年1月8日に決定した「争議を巡るいくつかの誤りとそれを克服する正しい指導方向」と称する県委員会総会方針に基づく全県での「指導・徹底」によって、党機関や神奈川労連等による、対象団体への乱暴な介入、分裂策動、運動妨害、支援団体への誤った「指導」による支援減少は、県内にとどまらず全国的規模で未曾有に広がっている。

県委員会が行った決定自体が、対象団体との事前の話し合いもなく、唐突に行われそのやり方ももっとも民主主義を重視しなければならない党機関と言う立場にありながら、逆に党内民主主義のかけらも微塵もないファッショ的なやり方で行われている。

対象団体を「誤った団体・人間」に画くため対象団体の役員名簿まで配布し、人権侵害を平然と行い、そのことを指摘しても「問題ない」等とおよそ社会常識では考えられない態度で対応している始末である。各地で行われている「県委員会決定に基づく指導」なる場所に於いても、多くのところで「こんなやり方はおかしい」との意見が噴出しているし、「事前に当事者と話し合いを持たない今回のやり方はまずかった」と発言する機関役員（県委員や地区役員）も出ているが、県委員会指導部はそれらの声も無視した形で決定の押しつけを押しつけているとしか思われない状態である。

このファッショ的人権侵害や組織介入による被害が生じた場合、一般社会に於いては第三者機関に提訴し、被害の回復と人権の回復を取り戻す方法があるが、党内問題に於いてはこれらの救済処置が一切封じられている（訴願を裁くのも党機関であることを考えれば人権の回復に役に立たない）それだけに党内に於ける民主主義は一般社会のそれに比べて倍する重要さがあると思われる。党規約第15条はその為「党機関が決定を行うときは、党組織と党員の意見をよく聞き、その経験を集約、研究する。出された意見や提起されている問題、党員からの訴えなどは、すみやかに処理する。」と規定しているのである。

ましてや今回の県委員会決定は限られた対象の党員を「誤った団体・個人」と限定して批判しているのであり、その対象の人と事前に話し合うのは利の当然であるにも関わらず、一切それを行っていない極めて非民主的やり方であることは論を待たない行為である。

東電やインフォーマル組織も陰に陽に我々共産党員に対して各種の人権侵害を行ってきたが、現在県委員会が行っている行為は、その性格、規模、やり方の面に於いてこれを上回って余りあるものである。

我々は直ちに県委員会が次のことを実施するよう要求するものである。

- 1, 県委員会は11月8日の決定を見直す立場から、既決定を撤回し全県党組織に文書にて指示し、同時に説明会を開催して徹底を図ること。
- 2, 県委員会の責任で今回の県委員会決定によって生じた争議団や対象団体の内部に発生した不団結や、争議支援減少等の問題に関し、当該団体謝罪し回復に責任を持つこと。
- 3, 電力連絡会や、電力会館に対する「誤った方針に基づく誤解や乱暴な介入・攻撃」に関し、あらぬ嫌疑を晴らすなどの処置を講ずること。
- 4, その上で、争議運動に関する方針や、連合職場運動に関する方針を作成するに当たっては、現・元争議団や、運動体に学ぶ立場から話し合いや討論を深めて作り上げていくこと。

電力連絡会から県委員会に手紙を出しても返事なし・無視している
電力会館での集会に党员として参加出来ないと言う人が出ている。
東電争議に関して県委員会の指導は皆無であった
神奈川の争議運動に学ぶ必要あり、神奈川の運動は全国的にも素晴らしい到達点である、これに学ぶべきだ

緑区のジェット機墜落の集会を電力会館で実施。椎葉氏→日立居る会館でやるのなら参加できない、同じと見られる
これは、県委員会の日立や電力会館に対する見方を示すもの。関氏・・

関

元々県委員会が11月8日の方針を何故出したかという、既に済んだ所にどうのこうのではない
千代田は済んでも未だに不断結あり、日立・東芝→今闘っている争議団に不団結あり
千代田だけではよくわからなかったが、日立・東芝も同じようになっていると言うことを考えると千代田独自の問題でなく共通点あがるので
東電は問題がないので名前はない
但し支援共闘問題で東電の皆さんが意見あるならいつでも聞く

吾妻：関へ→間違っているから正していくと言うことか
関：そうだ

日立の支援共闘は呼ばれたことはない
神奈川労連が県委員会と同じ立場をとって居る
日立争議に北東地区委員会が印刷機を貸さないと言う事態が起きている
この件については県委員会の野口が「貸さないように」しているのではないか？

野口

自分は判断していない、北東地区委員会の自主的判断だ

北東地区委員会から相談受けてどう対処したのか

野口

状況を話しただけで、貸すなどは言っていない

連絡会側

そんな馬鹿な話はないだろう「野口が貸さないようにしたことは明らかだ」

世間でそんなことが通用するのか、全く常識ないやり方だ
相談に来たら県が貸せと指導すべきだ

・
・

野口

県で11月8日決めたのは県としての指導方針だ

「県争決定」と違うものを入れている、それを訂正してない

不団結があるとすれば、一方的立場の意見のみ聞いて間違っただけの偏見でやっているのだから、不断結が拡大してしまっているのだ。撤回して全体に徹底せよ。

不団結は県が作り出した、千代田の件では秘密交渉が問題だ

当事者から何も聞かないで、反対意見の人からのみ聞いて方針を出せるのか

連合職場連絡会として2回話し合った。県委員会はこれ以上はうち切ろうとしている。県で一旦決めたらもう直らないと言っている。君たちが守れば良いんだという態度だ

関は先ほど「この問題はいくら時間がかかっても徹底して話し合う」と言ったが、連合職場への態度は全く違うのではないは。その場限りのでたらめを言っている

関

連合職場連絡会は、県の主旨を聞こうとしないからだ

あなた達のやり方が間違っている

事実に対して共産党員がどういう立場をとるのか
県委員会はどうか対応するのか

日本共産党員が日本共産党のため闘って勝った。勝った要因は支援共闘会議や弁護団、全国の多くの支援者のおかげであり、中央委員会や県委員会の力でない。
電力会館をどう見ているかを答えよ

野口

答えられない

田母神

電力会館建設に県は相談受けていない

他一同

とんでもない、小池氏と相談している、会館竣工祝いにも尾崎兼委員長が参加して祝いを述べている。小池委員長出せと言っているのだ。

池田、鈴木氏を批判している、金をもらったとかのデマあり、どう考えているのだ

関

池田氏にそういったことはない

今まで話を聞いていて、実に腹立たしい。

資料にも名簿付けても名誉毀損になるとか考えていないのか、間違いでないのか答えよ

野口

名簿を付けることによって自然に出した方がいいと考えて出した、今後は気を付ける。

野口氏は今まで県争や連合職場連絡会の総会に出ているが、総会で批判は1回も無かったね。

はい

名簿提出への確認

田母神

ありのままを知らせると言うことで問題ない

関

不適切ではない、誤りと思っていない

党を壊しているのは県委員会だ

再度県委員会の態度を批判し、決定を撤回せよ、その結果を返事せよ

田母神

うなづく

ではこれ以上ないですか、いいですね終わります。

終了